

MARTIN PARR: FASHION MAGAZINE - Tokyo Metropolitan Museum of Photography

# FASHION MAGAZINE

Summer 2007

## マーティン・パー写真展



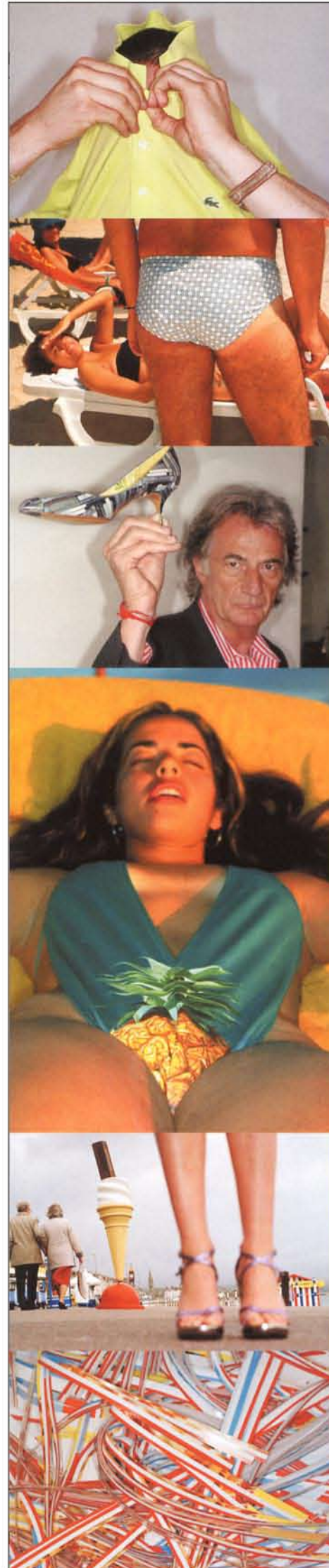
7.7(土)~8.26(日) 東京都写真美術館 2F展示室

開館時間=10:00-18:00 (木・金は20:00まで) ※入館は閉館の30分前まで 休館日=月曜日 (ただし7月16、23日は開館、17日は休館)

観覧料: 一般=1000(800)円 / 学生=800(640)円 / 中高生・65歳以上=600(480)円

※( )内は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会 ※小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料

主催: (財)東京都歴史文化財団 東京都写真美術館/マグナム・フォト東京支社 協賛: Paul Smith 協方: (株)恵比寿ガーデンプレイス



# FASHION MAGAZINE

## マーティン・パー写真展

**本**展は、現代の英国を代表する写真家マーティン・パーの日本での初めての大規模な個展となるものです。彼の写真は、ユニークなコンセプトとデザインによる写真集や、すぐれた写真集を一望する写真評論集などで知られていますが、なかでも2005年に出版された『FASHION MAGAZINE』は、そのシンプルなコンセプトに、華やかなイメージとその裏側、そして何よりも彼一流のアイロニーを効かせた代表作と言えるでしょう。同書において、マーティン・パーは写真家と編集長を兼任していますが、従来のファッション・マガジンにない、〈編集長〉として以下のようなメッセージを寄せています。

「私の、私による、私のためのファッション・マガジンによろこせ！ 2005年春に刊行される本書のために、数年にわたって撮りためてきたファッション写真を、新作も含めて一挙にお見せすることができて光栄です。これらの写真は、すべて広告写真として、あるいは旅行や食べ物紀行として、さらにはカルチャーとして撮り下ろされたものです。もし、このためのテーマというものが存在するならば、人生のすべて、と言えるでしょう。われわれは、日々仕事に向かい、ショッピングを楽しみ、歯医者に通い、かと思えば浜辺のパカンスにも出かけます。そんな日常生活の中で、いくつかの写真にはモデルを起用し、またいくつかの写真には通りで見かけた人々を撮っていますが、どうです？ みなさん、区別がつかないでしょう？ 同様に、ある写真はドキュメンタリーのように、またある写真はファッションらしく撮っていますが、いずれもアートっぽくも見えるでしょう。それらの違いについて論じることはなんて面白いことか！

世の中の決まり事などがなくなり捨てて、私は新たなスタイルを展開していきます」

※本展は、新作も含めたカラー写真約110点で構成されます。  
All photos © Martin Parr / Magnum Photos

### 【関連事業】

7月14日(土)

マーティン・パーによる  
アーティスト・トーク+  
ギャラリー・ツアーを予定  
[www.syabi.com](http://www.syabi.com)

\*

7月13日(金)~9月2日(日)まで、  
Paul Smith SPACE GALLERYにて  
マーティン・パーによる  
"Paul Smith@Ilford"展同時開催  
[www.paulsmith.co.jp](http://www.paulsmith.co.jp)



### 東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内  
tel: 03 3280 0099 URL:<http://www.syabi.com>



※京浜東北線恵比寿駅より徒歩7分・東横線恵比寿駅より徒歩10分  
○無料の駐車場はございません。お車での来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。